

事業名	フェスタ県文																							
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )													8月下旬よりチラシ、ホール広報誌(山梨日日新聞内)を活用して来場者の募集と開催を断続的に告知。2月の出演者決定後は、先のPRに加え出演者にチラシ、ポスターを使つての集客告知協力を依頼。										
事業の概要 (出演者など)	県内で舞台芸術に取り組む人たちに発表の場を提供する事業。クラシック音楽、ポップス、演芸、芝居、ダンスなどジャンルを問わず出演者を公募する。発表の機会を提供することで、文化活動に取り組む県民のモチベーションを高め継続的な活動を促す。出演者が他分野のステージアーティストと交流を図る場としても効果をあげている。																							
事業実施状況 4月23日、29日、30日 小ホール	(具体的な実施状況)													<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1339 331 1518 375">総事業費</td> <td data-bbox="1518 331 2078 375">3,304,600円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1339 375 1518 418">入場料収入</td> <td data-bbox="1518 375 2078 418"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1339 418 1518 461">助成金・補助金等</td> <td data-bbox="1518 418 2078 461"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1339 461 1518 504">その他収入</td> <td data-bbox="1518 461 2078 504"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1339 504 1518 547">自己財源</td> <td data-bbox="1518 504 2078 547"></td> </tr> </table>	総事業費	3,304,600円	入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源	
総事業費	3,304,600円																							
入場料収入																								
助成金・補助金等																								
その他収入																								
自己財源																								
	2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月															
		・17日抽選会		・6日出演者説明会	・23日クラシック部門 ・29日演芸・ダンス部門 ・30日ニューミュージック部門																			
入場者・参加者等の数	目標入場者 1000人	(内訳)	4月23日	4月29日	4月30日																			
		出演者	50人	350人	50人																			
		スタッフ	10人	20人	20人																			
		入場者	450人	1,000人	630人																			
後援者名・協賛者名等														出演者、来場者ともに継続開催を望む声が多い。これに応え継続開催を計画している。										

事業名	ミュージカル「機関車トーマス」								広報活動の 実施状況 (具体的な実施 回数・内容等)	年明けよりテレビ山梨のCMと、文化ホール広報誌でPR。合わせて、チラシを幼稚園、保育園、公共の集客施設に配布するなどの広報活動を展開した。				
主催・共催状況	単独主催 <b>共催あり</b> (共催先: )テレビ山梨									総事業費	383,000円			
事業の概要 (出演者など)	幼児、児童に人気のテレビ番組「機関車トーマス」をミュージカル化した作品の公演。子供たちに舞台アートの素晴らしさを伝えるためテレビ山梨と並び主催で開催する。テレビや映画の世界をリアルな舞台作品としており、子どもたちの夢を育むステージ。								入場料収入	[REDACTED]				
事業実施状況 6月10日 大ホール	(具体的な実施状況)								助成金・補助金等	[REDACTED]				
	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	その他収入	[REDACTED]				
・開催計画、広報計画の策定		・チケット販売			・10日 開催			自己財源	[REDACTED]					
入場者・参加者等の数	目標入場者 2000人 (2回公演計)	(内訳)						2018年 1月	2月	3月	4月	実施後の 効果 (関係者 の満足 度等)	他の着ぐるみによるキャラクターショーとは異なり、機関車が主人公となる稀な舞台。リアルに動き、演じる機関車たちが子どもたちを大いに喜ばせた。	
		出演者	20人	スタッフ	30人	入場者	1,950人	実施後の 効果 (関係者 の満足 度等)	テレビ山梨との共催で誘致した舞台で円滑な連携が図れた。					
後援者名・協賛者名等									実施後の 効果 (関係者 の満足 度等)	可能な限りメディアやプロモーターとの共催公演を展開し、バラエティに富んだ舞台芸術の鑑賞機会を県民に提供して行く。				

事業名		ミュージカルワークショップ																											
主催・共催状況		単独主催 共催あり (共催先: )																											
事業の概要 (出演者など)		名作ミュージカル「ライオンキング」を2日間のトレーニングで全幕演じるワークショップ。将来プロのミュージカル俳優目指す者から初めての者までプロの演出家、声楽家、ダンサーが手ほどきする。																											
事業実施状況 4月22日、23日 リハーサル室		(具体的な実施状況)																											
		2017年																											
		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月																											
		・開催概要打ち合わせ ・参加者募集(チラシ、ポスター) ・参加者応募締め切り 台本、楽譜事前配布 ・22日、23日開催(23日成果発表)																											
		2018年																											
		9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月																											
入場者・参加者等の数		(内訳) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>目標受講者</td> <td>40人</td> <td>22日</td> <td>23日</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td></td> <td>25人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>発表会見学者</td> <td></td> <td>—</td> <td>20人</td> </tr> </table>												目標受講者	40人	22日	23日	参加者		25人	25人	スタッフ		20人	20人	発表会見学者		—	20人
目標受講者	40人	22日	23日																										
参加者		25人	25人																										
スタッフ		20人	20人																										
発表会見学者		—	20人																										
後援者名・協賛者名等																													
		来場者アンケートなどを通して文化ホールのワークショップへの参加を希望している県民や過去のミュージカルや演劇ワークショップの参加者にDMを発送して参加を呼びかけるとともに、公共の集客施設などにチラシを配布してPRした。																											
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>530,000円</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>助成金・補助金等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td></td> </tr> </table>												総事業費	530,000円	入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源							
総事業費	530,000円																												
入場料収入																													
助成金・補助金等																													
その他収入																													
自己財源																													
		ワークショップの最後に参加者の友人や家族、一般の来場者を迎えてワークショップの成果を疲労したが2日間だけの稽古とな考えられないステージとなり来場者にも満足してもらえた。																											
		東京の劇団「もんもちプロジェクト」と演出家の中原和樹氏に今回始めてワークショップを依頼したが、参加者のモチベーションを高め、舞台に集中させる手腕は谷例を見ないものがあった。 小学2年生から60代まで幅広い参加者となった。1日12時間近いワークショップで参加者の体調などが心配されたが、事故もなく無事終えることができた。																											
		引き続き、年1回「もんもちプロジェクト」と演出家中原一樹氏によるワークショップを開催する予定。																											

事業名	県民劇「きもったまおっ母とその子どもたち」								広報誌・新聞 (具体的な実施状況)	2月から公演直前まで、新聞広告やホールホームページ、広報誌への掲載、チラシ・ポスターの配布など様々なツールを活用してPRを図った。
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )									
事業の概要 (出演者など)	地方都市では、上演される機会の少ない芸術性の高い芝居を上演するため結成した「ナシヤ」の旗揚げ公演。団員の他にオーディションで選考した県民でポーランドの劇作家ベルトルト・ブレヒトの「肝っ玉おっ母とその子どもたち」を上演。小ホールのステージ上に特設ステージを組む小劇場スタイルで4公演を開催。甲府市出身の文学座演出家、望月純吉氏が演出を務める。								入場料収入	[REDACTED]
事業実施状況 6月9日～11日 (4回公演) 小ホール	(具体的な実施状況) 2017年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 ・広報計画策定 ・6、8、9、13、15、20、22、23、29日 練習室にて稽古 ・7、11、13、18、20、25、27日 ・ホームページ他で広報 小ホール、リハーサル室、練習室にて稽古 ・チケット販売開始 ・1日～8日稽古及び会場設営 ・9日～11日公演								助成金・補助金等	[REDACTED]
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	アマチュア俳優でクオリティの高い舞台を実現するため稽古の機会を可能な限りせっていたが、一般ホール利用者を優先するため稽古会場が文化ホール以外になることも度々あった。アマチュアキャストの創作舞台では、参加者のスケジュールもあり、こうした状況が度々起こっている。	
入場者・参加者等の数	目標入場者 250人 4公演計	(内訳) 【練習参加】 4月 350人 5月 205人 6月 285人 参加者は延べ人数						【公演】 出演者・関係者 入場者 655人		アマチュア俳優がメッセージ性の高いブレヒトの作品をプロの演出家の下で挑戦した舞台。全員アマチュアとは思えない充実した舞台となり、来場者を魅了した。しかし、公演後は本作品のハードな稽古日程などから今回限りで離脱を表明する団員が続出し、祖傳々の縮小を余儀なくされている。
後援者名・協賛者名等									プロの劇団による地方公演の機会が乏しい古典的名作の鑑賞機会を作ろうと県民主体による舞台制作を続けているが、日ごろの生活との両立が難しいなど定期的に継続するのが困難。しかし、こうした作品の上演機会の創出はホールのミッションの一つと考えている。	
									参加者が作品づくりと日常との両立が図られるような工夫を凝らし、機会あるごとに名作と言われる演劇の公演を継続していきたい。	

事業名	劇団四季 心の劇場												広報・集客方法等 (具体的に、何回、回数、内容等)						
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )														総事業費	539,500円			
事業の概要 (出演者など)	甲府市内の小学5年生を対象としたミュージカル鑑賞会。甲府市教育委員会、劇団四季と共催で開催している。												入場料収入		[REDACTED]				
事業実施状況 10月31日 大ホール	(具体的な実施状況)												助成金・補助金等		[REDACTED]				
	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	その他収入	[REDACTED]									
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	自己財源	[REDACTED]									
		・31日公演							実施後の効果 問題等	今年で10回目を迎える継続事業。教職員、甲府市教育委員会とも恒例行事として調整を図っていただいている。児童も本格的な舞台作品に触れて感動している様子が見える。									
入場者・参加者等の数	目標入場者 1500人	(内訳) <table border="1" data-bbox="465 1023 701 1102"> <tr> <td>出演者</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,670人</td> </tr> </table>										出演者	30人	スタッフ	30人	入場者	1,670人	実施後の効果 反省点等	
出演者	30人																		
スタッフ	30人																		
入場者	1,670人																		
後援者名・協賛者名等													実施後の効果 展望	劇団四季の協力が得られる限り継続する方針。					

事業名	ワークショップ あなたの文化をみつけよう「音楽を楽しむフェスティバル」							公共施設や教育機関へチラシを配布するとともに、文化ホールのワークショップへ参加を希望する県民にDMで告知。  実施内容 実施時期 参加者 費用等	公共施設や教育機関へチラシを配布するとともに、文化ホールのワークショップへ参加を希望する県民にDMで告知。		
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )									総事業費	1,530,000円
事業の概要 (出演者など)	音楽の専門教育学科がある甲斐清和高校の教師、講師の協力を得て開催する一般参加型の音楽の個人レッスン講座。ピアノ、フルート、チェロ、サクソ、クラリネット、ユーフォonium、声楽、リミック、音楽療法、ソルフェージュ、ゴスペルなどの講座を開設。さらに講師陣によるミニコンサートや公開レッスンも行った。甲斐清和高校のノウハウと施設の利点を生かした取り組みで多くの県民に楽しんでもらった。									入場料収入	[REDACTED]
事業実施状況 8月18～21日 小ホール 会議室 リハーサル室 練習室	(具体的な実施状況)									助成金・補助金等	[REDACTED]
	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			8月	その他収入
			甲斐清和高校とプログラム打ち合わせ			・プログラム確定 ・参加者募集	18日～21日 レッスン& ミニコンサ		自己財源	[REDACTED]	
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	実施内容 実施時期 参加者 費用等	個人レッスンは、どの講座も定員オーバーとなり、受講できない希望者があった。個人レッスンという形態をとっているため、やむ終えない事態と考えるが次回開催では、講師のスケジュール調整や実施機関の見直しなどで可能な限り多くの希望をかなえたい。一方で講師らによるミニコンサートは集客に苦しんだ。	
										昨年に続き2回目の開催となったが、個人レッスンは大いに好評。楽器や音楽を始めるきっかけづくりに貢献できていると感じる。	
入場者・参加者等の数  目標入場者  800人	(内訳)	参加者	8月18日	8月19日	8月20日	8月21日				実施内容 実施時期 参加者 費用等	ミニコンサートは、レッスンの講師陣による優れたステージとなったが、集客が伸び悩んだ。レッスンに付属するコンサートと認識されたのかもしれない。次回は、コンサートのみでも魅力あるステージであることをPRし、集客の向上を図りたい。
		個人レッスン	個人レッスン	個人レッスン	個人レッスン	計)1,378人					
後援者名・協賛者名等								実施内容 実施時期 参加者 費用等			

事業名	山の都ふれあいコンサート										広報・啓蒙活動 (具体的な時期、回数、内容等)	実行委員会によるPRとホール広報誌、ホームページをとおして情報を発信した。						
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )											総事業費 入場料収入 助成金・補助金等 その他収入 自己財源	743,040円 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]					
事業の概要 (出演者など)	障害者と健常者が協働で創作するミュージカルステージ。障害者の社会参加を促すとともに、障害者に対する社会の理解を深める目的で実行委員会との共催で開催。										取組までの進捗 概況							
事業実施状況 11月19日 小ホール	(具体的な実施状況) 2017年 1月      2月      3月      4月      5月      6月      7月      8月												参加者・出演者の 概況	全国でも例を見ない障害者をキャストの中心に据えたミュージカルで、出演者が真剣に取り組む姿が観客の心を打つステージ。出演者、作品制作に当たるスタッフが一つになって完成する舞台だけに、来場者に大きな感動をもたらしている。				
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月		実施後の感想等の 概況								
入場者・参加者等の数	目標入場者 400人	(内訳) <table border="1" data-bbox="465 1026 701 1129"> <tr> <td>出演者</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>450人</td> </tr> </table> (延べ人数)									出演者		160人	スタッフ	80人	入場者	450人	次年度以降の 展開・展望
出演者	160人																	
スタッフ	80人																	
入場者	450人																	
後援者名・協賛者名等																		

事業名	劇団四季ミュージカル「アンデルセン」										広報・宣伝方法 (具体的な活動 回数・内容等)	山日YBSと共催事業。山日YBSのメディアによるPRとホール広報誌、ホームページを活用してのpr。加えてチラシ、ポスターを県内集客施設等に配布。						
主催・共催状況	単独主催 <u>共催あり</u> (共催先: )山日YBS											総事業費	0円					
事業の概要 (出演者など)	山日YBSと共催で毎年開催している劇団四季の定期公演。今回の作品には、県出身の若手俳優3名が出演公演となったことから来場者も多かった。										入場料収入	0円						
事業実施状況 8月20日 大ホール	(具体的な実施状況) 2017年 1月      2月      3月      4月      5月      6月      7月      8月 ・開催告知 ・先行予約(山日YBS、コラニー文化ホール共) ・一般発売告知 ・20日公演										助成金・補助金等							
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	実施までの集客し 間取り	その他収入								
入場者・参加者等の数	目標入場者 1,200人	(内訳) <table border="1" data-bbox="488 1021 725 1104"> <tr> <td>出演者</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,470人</td> </tr> </table>								出演者	20人	スタッフ	30人	入場者	1,470人	自己財源		
出演者	20人																	
スタッフ	30人																	
入場者	1,470人																	
後援者名・協賛者名等											参加者・観客者の 反応等	年1回のレギュラー公演。今回の「アンデルセン」には、県出身の若手俳優3人が出演することとなったため、通常の四季ファンに加え、県内キャストを応援しようという来場者も加わり、盛況となった。作品も四季の演目としてはマイナー感があったが、完成度が高く来場者を感動させていた。						
												実施後の感想や 反省点等	人気劇団の公演ではあるが、演目によって集客にばらつきがある。公演を招致するにあたっては、県民のニーズに沿った作品の公演を求めて行くことが必要。					
											本年度の集客 実績等		公演をt直し実に行っている県民が多く、人気も衰えを見せないことから、宇エンド以降も開催していく方針。					



事業名	HAPPY 富士吉田公演												広報・宣伝活動 (具体的な時期 回数・内容等)	プロデュースから作・演出、制作まで全て取り組んだ初のオリジナル作品の3回目の公演。県公立文化施設協議会を通し富士山ホールからの開催要望を受け開催した。アウェイ感の強い郡内での開催となったため、早期にチラシポスタを郡内中心に配布。富士吉田市教育委員会の後援をとり小中学校を通してのPRを行った。
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )													総事業費 4,568,400円 入場料収入 助成金・補助金等 その他収入 自己財源
事業の概要 (出演者など)	文化ホールのオリジナル作品として制作した「HAPPY」のアウトリーチ公演。チャイルドフッドのライブ演奏で芝居、ダンスを展開するエンターテインメント作品。出演はチャイルドフッドと県内のアマチュア俳優、ダンサーら。本年度は、富士吉田市の富士山ホールからの要請でアウトリーチ開催した。ストーリーに地域の特性を加えるほか富士五湖地域の出演者も加えて開催。予想を上回る来場者を迎えた。												実施後の見直し (反省点)	会場のスケジュールの関係で前日夜仕込み、当日ゲネプロ、本番というハードなスケジュールでの公演となった。出演者がアマチュアばかりで、体調を含めた調整に神経を使った。出演者もほとんどが国中と構想時点で集客対策に苦慮した。
事業実施状況 8月20日 (富士山ホール)	(具体的な実施状況) 2017年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 ・チラシ、ポスター配布 3.4.5.10.11.12.14.17.18.24.25.26日 稽古 ・ホール広報誌で公演告知 ・YBSラジオの番組内で告知 ・2、3、10、17、24、30日稽古 ・2.3.8.9.10.13.15.16.17.2 ・富士山ホール下見、打ち合わせ 23.31日稽古 ・7.10.13.14.15.22.28.31日稽古 ・2.3.7.9.12. ・ホール広報誌で告知 17日稽古 ・20日 公演 2018年 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月													参加者・出演者 感想等
入場者・参加者等の数	目標入場者 500人	(内訳) 【練習参加】 4月 120人 5月 190人 6月 255人 7月 375人 8月 185人 参加者は延べ人数 【公演】 出演者・関係 35人 入場者 600人										実施後の見直し (反省点)	県公立文化施設協議会を通して地方のホールで当事業体のオリジナル作品「HAPPY」を上演するのは、昨年の桃源文化会館に続いて2回目となったが、文化ホールの初演に比べても劣らぬ集客を続けており、県民に愛される財産としての作品づくりという目標を実現できていると実感した。	
後援者名・協賛者名等													次年度以降の 展開 見直し	「再演可能な作品づくり」を目指して制作に取り組んでいる「HAPPY」で、今後も機会あるごとにコラニー文化ホールをはじめ県内の文化施設での巡回を進めたい。ただ、初演からの出演者が年齢的にキャラクタにそぐわなくなるなどの課題があり、当面、新たな出演者を募集したり、作品を手直しするなどの改良が必要となるため、毎年開催は難しい状況。「HAPPY」に続く新たな作品づくりも含めて取り組んで行きたい。

事業名	ふるさと山梨県立ちコンサート								山梨県立ちコンサート (具体的な実施状況) 回数 内容等	山梨日日新聞の1面に広告を掲載し告知。このほか、YBSラジオの番組内での告知などメディアを活用してのPRに加え、ホールの情報誌(山梨日日新聞内)やホームページでの情報発信。出演者によるPRなど。					
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )									総事業費	777,000円				
事業の概要 (出演者など)	音楽大学など音楽の専門教育を終了し、音楽家として巣立つ若手アーティストを広く県民に紹介するとともに、門出を祝うコンサート。山梨県出身の音楽大学生や県内の教育機関で音楽を専門に学んだ若者を募集して開催する。								入場料収入	[REDACTED]					
事業実施状況 5月28日 小ホール	(具体的な実施状況) 2017年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 ・19日運営委員会 ・21日出演者、演奏順抽選会 ・28日公演 ・山日新聞1面へ広告出稿								助成金・補助金等	[REDACTED]					
入場者・参加者等の数	目標入場者 420人	(内訳)						実施計画の進捗状況 問題点	その他収入	[REDACTED]					
<table border="1"> <tr><td>出演者</td><td>12人</td></tr> <tr><td>スタッフ</td><td>20人</td></tr> <tr><td>入場者</td><td>300人</td></tr> </table>	出演者	12人	スタッフ	20人	入場者	300人									自己財源
出演者	12人														
スタッフ	20人														
入場者	300人														
後援者名・協賛者名等									実施計画の進捗状況 問題点	少子化に加え音楽大学を目指す学生の減少が顕著で、毎年出演者が減少していく。音楽系学科を持つ大学に出演対象者を照会しているが、個人情報に関わり直接対象者にコンタクトできないのも課題。本年度も音楽大学の県OB会などを通して情報収集を進めて、開催可能な出演者を集めた。					
										音楽家を目指す新卒者にとって一般の来場者に演奏を聞いてもらう機会は貴重で、喜んでもらえた実感している。来場者も出演者の関係者ばかりでなく、クラシック音楽の様々な演奏形態を楽しめるコンサートであることが浸透しており一般の来場も多く訪れ、高い評価を得ている。					
									実施計画の進捗状況 問題点	昨年まで、出演者は演奏後すぐに引き上げ手しなスケジュールとなっていたが、今年から出演者同士の交流や情報交換を初めコンサートを運営する県内音楽関係者とのコミュニケーションを促進するため、公演後にささやかな交流会を開催した。ホールとの関係も構築でき実のある試みとなった。					
										物理的な理由による出演者の減少にストップがかけられない状況ではあるが、このコンサートを経て多くの音楽家を輩出している実績もあり、コンサートの形態を変えてでも継続する予定。					

事業名	ウィーン木管五重奏団コンサート「音楽の都からの贈り物」								広報・集客方法 (具体的に、時期、回数、内容等)	チラシ、ポスターによるPRやホールの情報誌、ホームページへの掲載で集客を図るとともに中学、高校の吹奏楽部に対して告知を展開した。					
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )														
事業の概要 (出演者など)	昨年度、山梨県の観光プロモーション課を通して「ウィーンの会」より提案された事業を継続して開催した。オーストリアの世界的オーケストラで活躍する演奏家によるアンサンブルコンサートで、青少年を中心に音楽の楽しさを伝え、地域文化の活性化を図る事業。演奏会に先立ち、ウィーンのアーティストらが県内の中学生奏者を公開指導するなど多彩なプログラムとして開催した。音楽の活性化とともに、文化技術を柱とした国際交流の促進も図ることができる事業である。								総事業費 1,490,000円  入場料収入 0円  助成金・補助金等  その他収入  自己財源						
事業実施状況	(具体的な実施状況)														
10月14日															
大ホール															
	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		参加者・参加者 関係者					
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	参加者・参加者 関係者						
	・中学校吹奏楽部などへ来場案内 ・一般観覧車の受付開始 ・14日 コンサート開催									実施後の感想及び 反省点等					
入場者・参加者等の数	目標入場者  350人	(内訳) <table border="1" data-bbox="465 1029 705 1109"> <tr> <td>出演者</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>380人</td> </tr> </table>							出演者		5人	スタッフ	15人	入場者	380人
出演者	5人														
スタッフ	15人														
入場者	380人														
後援者名・協賛者名等									2019年に日本とオーストリアの国交150年を迎える。この年は甲府市の開府500年ともなるためダブルアニバーサリーを祝う特別コンサートを検討している。次年度はこの記念コンサートへ向けたプレ事業と位置づけ、やまなしジュニアオーケストラとの交流など特別往路グラムでコンサートを展開する予定。						

事業名	野村萬斎 狂言会								公演・参加者等の数 (具体的な実施状況) 回数・内容等	新聞、包装などのメディアを利用した告知やホールの情報誌、ホームページへの掲載。						
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )										総事業費	2,720,000円				
事業の概要 (出演者など)	県民に優れた伝統芸能を紹介するための事業。歌舞伎、狂言など鑑賞事業を展開しているが、歌舞伎公演は開催の都度来場者が減少し、よほどの人気公演以外に開催できない状態となっているが、狂言は野村萬斎さんの人気を背景に好調に集客できている。県民が古典芸能に接する機会を確保するためにも県民ニーズを探りながら公演をセレクトして行く。								入場料収入	[REDACTED]						
事業実施状況 12月5日 小ホール	(具体的な実施状況) 2017年 1月      2月      3月      4月      5月      6月      7月      8月 ・開催内容打ち合わせ    ・PR素材作成 ・メディアによるPR開始								助成金・補助金等	[REDACTED]						
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	その他収入	[REDACTED]						
入場者・参加者等の数	目標入場者 600人	(内訳) <table border="1" data-bbox="481 1029 705 1109"> <tr> <td>出演者</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>670人</td> </tr> </table>							出演者	15人	スタッフ	30人	入場者	670人	実施までの経緯 ・計画	
出演者	15人															
スタッフ	30人															
入場者	670人															
後援者名・協賛者名等									参加者・参加者の数	伝統芸能への理解を深めてもらおうと毎年開催しているが、早い段階でチケットが完売する人気公演。狂言師、野村萬斎さんが演技を披露するばかりでなく公演作品や狂言の解説を行っているのも評判の講演で、県民に支持されている理由と考えられる。						
									実施後の感想 ・反省	歌舞伎公演の人気陰る一方で、野村萬斎さんを迎えての狂言公演は根強い人気となっている。他の古典芸能に比べ気軽に楽しめることと野村萬斎氏の人気によるものと考えられるが、日本の伝統文化を県民に伝えるためにも、ニーズにあった作品やジャンルをリサーチすることが必要と考えている。						
									次年度開催 ・計画	野村萬斎氏の人気が高く、1年先のスケジュールを確定する必要がある。次年度の開催も決定している。						

事業名	狂言会ワークショップ										具体的な時期 回数・内容	市町村教育委員会の協力を頂き、県内の全小学校に告知と参加募集をかけている。					
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )																
事業の概要 (出演者など)	狂言を教材に古典の学習をする小学校6年生の児童に本物の狂言を鑑賞し、表現方法や所作を体験してもらおうと言う事業。多くの子ども達に日本古来の文化に触れる機会を作り文化に親しみ支える心をはぐくむため、県内の公立小学校児童を対象に開催した。甲府市内の小学校を対象に2012年度にスタートした事業であるが、文化庁の助成を受け翌年からバスを手配し全県の小学校を対象に開催。本年は、参加希望校の増加で定員をオーバーし、1校に参加を断念し										総事業費 6,450,000円  入場料収入 助成金・補助金等 その他収入 自己財源						
事業実施状況 12月4,5日 小ホール	(具体的な実施状況) 2017年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 ・県内公立小学校に開催案内 ・参加申し込み書配布																
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	参加者・協賛者の 課題点 毎年継続しているワークショップだが今回初めて定員を上回る応募があり、参加できない学校を出してしまった。								
入場者・参加者等の数	目標入場者 1000人	(内訳) <table border="1" data-bbox="465 1023 698 1102"> <tr> <td>出演者</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>2,100人 (3回合計)</td> </tr> </table>								出演者		5人	スタッフ	15人	入場者	2,100人 (3回合計)	参加者・協賛者の 感想等 教科書で学ぶ古典を文字教材だけでなく実演で体験できる機会、各校から「生徒の古典への理解を深めることができる」などの評価を受けている。また、参加した生徒も伝承芸術を通して、当時の人々の生活や文化、言葉遣いなどを楽しんでいた。
出演者	5人																
スタッフ	15人																
入場者	2,100人 (3回合計)																
後援者名・協賛者名等											実施後の感想等 子どもたちが早い段階で文化・芸術に触れる機会を得ることで、将来の鑑賞者の育成や県民の文化活動の促進を図れると考えて実施している。ただし、県下全ての小学校を対象に開催するため貸し切りバスの手配など自己資金だけでは継続が難しい事業。継続開催にはアクセスなど学校側の協力が必要になると考えている。						
												実施後の感想等 子どもたちのアクセスを確保に文化庁の助成金を頼ってきたが、次年度は助成が打ち切られることが決まった。当面自己資金を当てて開催を予定しているが、予算の半額近くが貸切バス代金となっている現状から継続開催を再考する必要に迫られている。					

事業名	県民第九コンサート										広報・宣伝 (具体的な実施状況) 回数・内容等	チラシ、ポスタの配布、ホールへの広報誌やホームページへの掲載で告知。こうしたメディアによるPRに加え出演者による口コミ集客の効果が大きい。	
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )												総事業費 4,150,000円
事業の概要 (出演者など)	県内で活躍するプロやアマチュアの音楽家が一夜限りのオーケストラと合唱団として集い、ベートーベンの交響曲第9番を演奏するコンサート。クラシック音楽を鑑賞するだけでなくつくり上げる喜びを体験してもらうことで、音楽文化の普及、拡大を目指す。										入場料収入		
事業実施状況	(具体的な実施状況)										助成金・補助金等		
12月10日 大ホール											その他収入		
2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	自己財源				
	・29日 第1回実行委員会 ・19日 第2回実行委員会 出演者募集開始										自己財源		
	2018年										自己財源		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	実施後の効果 等				
	・合唱(初心者講習)4回 ・オーケストラ練習5回 ・合唱(初心者講習)1回 ・合唱(初心者講習)5回 ・オーケストラ練習1回 ・合唱練習5回 ・オーケストラ練習2回 ・合唱練習2回 ・オーケストラ練習3回 ・9日 リハーサル ・10日 公演										参加者・指導者 数	27回継続しているコンサートで、参加者もこの機会を楽しみにしている。今回は、全国でアマチュアオーケストラや合唱団の指導で人気の辻博之さんを指揮者に迎え大好評だった。	
入場者・参加者等の数	(内訳)											実施後の効果 等	
目標入場者 1200人											実施後の効果 等	歴史あるコンサートで長年合唱に参加している県民も多い。逆に参加者の高齢化が悩み。新規参加者の拡大を目指して合唱の初心者講座を導入するなど工夫している。	
	9月 合唱初心者 オークストラ 参加者 160人 330人 指導者 20人 3人												
	10月 合唱 オークストラ 参加者 520人 70人 指導者 15人 3人												
	11月 合唱 オークストラ 参加者 827人 156人 指導者 20人 6人												
	12月 合唱 オークストラ 参加者 865人 300人 指導者 12人 12人 来場者 ー ー												
	12月(公演) 合唱 オークストラ 参加者 400人 指導者 10人 来場者 ー ー											*参加者、指導者数は延べ人数	
後援者名・協賛者名等											効果・期待 等	県民に親しまれ、すっかり定着しているコンサートで新たな参加者を募るなど継続に努める。	

事業名	ニューイヤーコンサート～ウィーンフォルクスオーバ交響楽団								広報・宣伝方法等 (具体的な時期・回数・内容等)	山日YBSの新聞、テレビ、ラジオ、ホールの情報誌、ホームページなどあらゆるメディアを活用してのPR。							
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )										総事業費	12,589,000円					
事業の概要 (出演者など)	音楽の都ウィーンの新年を祝う伝統行事「ニューイヤーコンサート」を県民文化ホールのステージに再現するコンサート。本場ウィーンの人々からウィーンフィルと共に愛されている「ウィーンフォルクスオーバ管弦楽団」を招聘し、演奏だけでなく演出、舞台装飾までウィーンの新ニューイヤーコンサートの雰囲気を伝えた。また、コンサートのアンコールでは、県内バレエスクールの子どもたちややまなしジュニアオーケストラも演奏に参加。コンサートに華を添えた。												入場料収入	[REDACTED]			
事業実施状況 1月8日 大ホール	(具体的な実施状況)														助成金・補助金等	[REDACTED]	
	2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月									8月
				・開催内容打ち合わせ		・PR素材作成				自己財源							[REDACTED]
2018年		9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月		実施までの準備 期間	ヨーロッパの新春の風物詩を本場のオーケストラが再現するコンサートで今回が2d回目の開催となったが、前回に引き続き多くの来場者を迎え、満足してもらえた。					
		・バレエスクールと打ち合わせ			・8日公演			・舞台セット等詳細打ち合わせ					参加者・出演者の 数等	堅苦しいクラシックコンサートではなく、楽しい音楽イベントとして開催している。晴れ着来場者や新成人を対象としたプレゼント企画ややまなしジュニアオーケストラ、県内バレエ教室の子どもたちが共演するなど様々な団体の協力で盛り上げることができた。			
入場者・参加者等の数	目標入場者 900人	(内訳)									実施後の感想・反省 等	ウィーンフォルクスオーバが音楽の都でも代表的なオーケストラ。招聘の機会があれば開催していきたい。					
		出演者	60人										スタッフ	30人			
		入場者	1,300人							後援者名・協賛者 名等							

事業名	若手アーティストによる自主制作舞台 やまがひ～しんしん～								実施内容 (具体的な実施状況)	ワークショップを主体としたステージ。成果発表は参加者の集客を主に、県内の演劇関係者や文化施設へのチラシの配布など。				
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )										総事業費	896,000円		
事業の概要 (出演者など)	山梨県出身の若手声楽家、俳優を中心に演劇やオペラなどを制作している劇団「もんもちプロジェクト」によるワークショップ公演。「もんもちプロジェクト」のメンバーと、県内の希望者をキャストに1週間で音楽芝居の稽古から公演までを総合的に開催する実験的取組。この「もんもちプロジェクト」は、新年度山梨の湖水伝説をモチーフとしたオリジナル作品「やまがひ」の制作を計画しているが、今回の舞台は、それを視野に入れた取組。								入場料収入	[REDACTED]				
事業実施状況 2月10日 小ホール	(具体的な実施状況)								助成金・補助金等	[REDACTED]				
	2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	その他収入	[REDACTED]			
入場者・参加者等の数	目標入場者 150人	(内訳)						2018年	1月	2月	3月	4月	自己財源	[REDACTED]
後援者名・協賛者名等									実施後の感想等	[REDACTED]				
									実施後の感想等	[REDACTED]				
									実施後の感想等	[REDACTED]				

地域に伝わる神秘的な伝説とその伝説を継承する民俗芸能をモチーフにした作品をアマチュアが6日間のワークショップで完成・披露する実験的舞台。不条理劇のスタイルで描かれる作品に県内の参加者は当初とまどっていたものの、コンテンポラリーダンスなどあらたな経験をすることができたなどの感想があった。

県内の舞台では余りにすることのできない不条理劇スタイルの舞台。発表後演出家、出演者と来場者とのトークセッションを開催したが、いずれも新鮮な体験であったとの声が多かった。様々な舞台芸術を県民に提供するホールのミッションとして、このような作品の紹介も視野に入れて展開する必要性を感じた。

今回の舞台は次年度の本公演を視野に入れて開催したものの、この舞台をベースに湖水伝説と天津司の舞とをモチーフにしたホールのオリジナル作品制作に取り組む。天津司の舞保存会や県立博物館の協力も得て制作を開始している。



事業名	ミュージカルシンデレラ								企画・集客方法等 (具体的な実施時期・回数・内容等)	チラシ、ポスターによる告知。また新聞テレビなどメディアへ情報発信し、記事掲載などでのPRを促した。加えてホールの情報誌、ホームページで開催の告知だけでなく練習の進捗状況、衣装や舞台セットの様子などを順次発信し継続手に県民の関心を喚起した。																																																									
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )									<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>18,400,000円</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>助成金・補助金等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td></td> </tr> </table>	総事業費	18,400,000円	入場料収入		助成金・補助金等		その他収入		自己財源																																																
総事業費	18,400,000円																																																																		
入場料収入																																																																			
助成金・補助金等																																																																			
その他収入																																																																			
自己財源																																																																			
事業の概要 (出演者など)	舞台芸術に取り組む県出身の様々なジャンルのアーティスト、大学生らが結集しオリジナルミュージカルを制作するプロデュース公演。平成28年に制作、初演した作品を新たなキャスト、スタッフで再演する。 また、文化ホールの創作作品について、山梨県公立文化施設協議会を通して、公演を希望する施設へのアウトリーチを進めているが、本作品について北杜市より開催希望があり、須玉ふれ								美術費、衣装費、印刷費 問題点	北杜市へのアウトリーチ公演を実施したが、県民文化ホールと異なる舞台のサイズやオーケストラピットが無いなど演出、進行上の工夫を強いられた。結果的に美術セットの変更など経費面で負担が増加した。																																																									
事業実施状況 11月5日 (北杜市須玉ふれあい館ホール) 3月10日、11日 小ホール	(具体的な実施状況) <table border="1"> <tr> <th colspan="8">2017年</th> </tr> <tr> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> </tr> <tr> <td></td> <td>25,26日初演公演 オーディション募集開始</td> <td></td> <td>15日新年度オーディション</td> <td>6,20日WS 20日衣装、小道具打合せ</td> <td></td> <td>印刷物配布・チケット販売 (北杜公演) (北杜公演)</td> <td>11~15, 25~27日稽古</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>17,18,24,25日稽古</td> <td></td> <td></td> <td>15,16,22,23日稽古</td> </tr> </table>										2017年								1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		25,26日初演公演 オーディション募集開始		15日新年度オーディション	6,20日WS 20日衣装、小道具打合せ		印刷物配布・チケット販売 (北杜公演) (北杜公演)	11~15, 25~27日稽古					17,18,24,25日稽古			15,16,22,23日稽古	参加者・関係者の感想等 山梨県在住あるいはゆかりのアーティストをキャストに山梨大学の大学院生らが台本作曲を担当するというオリジナルステージだが、完成度が高く多くの来場者に感動を与えることができた。																								
2017年																																																																			
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																																																												
	25,26日初演公演 オーディション募集開始		15日新年度オーディション	6,20日WS 20日衣装、小道具打合せ		印刷物配布・チケット販売 (北杜公演) (北杜公演)	11~15, 25~27日稽古																																																												
				17,18,24,25日稽古			15,16,22,23日稽古																																																												
入場者・参加者等の数	<table border="1"> <tr> <th colspan="8">2018年</th> </tr> <tr> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> </tr> <tr> <td>2,3,15~17, 23~27,29,31日稽古</td> <td>1,7,8,14,15,20~22,28~31日稽古</td> <td>2~4日 仕込み、ゲネプロ 5日 北杜市公演</td> <td>6~8,12~14, 19~21,26,28稽古</td> <td>1~5稽古 6~9仕込、ゲネプロ 10,11日 公演</td> <td>9~11,13,18, 23~25,28稽古</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>チケット販売 (甲府公演)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>23,24日 稽古</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								2018年								9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2,3,15~17, 23~27,29,31日稽古	1,7,8,14,15,20~22,28~31日稽古	2~4日 仕込み、ゲネプロ 5日 北杜市公演	6~8,12~14, 19~21,26,28稽古	1~5稽古 6~9仕込、ゲネプロ 10,11日 公演	9~11,13,18, 23~25,28稽古					チケット販売 (甲府公演)								23,24日 稽古						実施後の感想等 北杜市を含め3公演でキャストイングを変えるなど出演者の負担も昨年の初公演時に比べ増加したものの、初演時のキャストが中心となり全体をまとめ順調に公演を終えることができた。ただ、ダブルキャストを初めとした初演からの変更がキャスト、スタッフの大きな負担となったことは否めない。																		
2018年																																																																			
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																																																												
2,3,15~17, 23~27,29,31日稽古	1,7,8,14,15,20~22,28~31日稽古	2~4日 仕込み、ゲネプロ 5日 北杜市公演	6~8,12~14, 19~21,26,28稽古	1~5稽古 6~9仕込、ゲネプロ 10,11日 公演	9~11,13,18, 23~25,28稽古																																																														
		チケット販売 (甲府公演)																																																																	
		23,24日 稽古																																																																	
後援者名・協賛者名等	(内訳) <table border="1"> <tr> <th colspan="4">【練習参加】</th> <th colspan="4">【公演】(北杜市)</th> </tr> <tr> <td>目標入場者 1200人</td> <td>4月</td> <td>40人</td> <td>10月</td> <td>578人</td> <td>出演者・関係</td> <td>100人</td> <td>入場者</td> <td>350人</td> </tr> <tr> <td>3公演計</td> <td>5月</td> <td>80人</td> <td>11月</td> <td>-</td> <td colspan="3">【公演】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月</td> <td>195人</td> <td>12月</td> <td>35人</td> <td>出演者・関係</td> <td>154人</td> <td>入場者</td> <td>980人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7月</td> <td>155人</td> <td>1月</td> <td>201人</td> <td colspan="3">プロ活動をしている出演者を初めキャスト、スタッフがほぼボランティアで進めるプロジェクトだけに関係者のスケジュールリングなどが非常に困難。しかし、2年間の公演で知名度もあがっており、ホールの貴重なオリジナル作品として可能な限り再演を続けたい。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月</td> <td>340人</td> <td>2月</td> <td>236人</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月</td> <td>390人</td> <td>3月</td> <td>369人</td> <td colspan="3">参加者は延べ人数</td> </tr> </table>								【練習参加】				【公演】(北杜市)				目標入場者 1200人	4月	40人	10月	578人	出演者・関係	100人	入場者	350人	3公演計	5月	80人	11月	-	【公演】				6月	195人	12月	35人	出演者・関係	154人	入場者	980人		7月	155人	1月	201人	プロ活動をしている出演者を初めキャスト、スタッフがほぼボランティアで進めるプロジェクトだけに関係者のスケジュールリングなどが非常に困難。しかし、2年間の公演で知名度もあがっており、ホールの貴重なオリジナル作品として可能な限り再演を続けたい。				8月	340人	2月	236人					9月	390人	3月	369人	参加者は延べ人数			
【練習参加】				【公演】(北杜市)																																																															
目標入場者 1200人	4月	40人	10月	578人	出演者・関係	100人	入場者	350人																																																											
3公演計	5月	80人	11月	-	【公演】																																																														
	6月	195人	12月	35人	出演者・関係	154人	入場者	980人																																																											
	7月	155人	1月	201人	プロ活動をしている出演者を初めキャスト、スタッフがほぼボランティアで進めるプロジェクトだけに関係者のスケジュールリングなどが非常に困難。しかし、2年間の公演で知名度もあがっており、ホールの貴重なオリジナル作品として可能な限り再演を続けたい。																																																														
	8月	340人	2月	236人																																																															
	9月	390人	3月	369人	参加者は延べ人数																																																														

事業名	真嶋雄大「面白クラシック講座」							広報方法等 (具体的な時期、回数内容等)	ホールの広報誌、ホームページへの掲載。チラシ配布による告知など。	
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )									
事業の概要 (出演者など)	山梨県在住の音楽評論家、真嶋雄大さんがクラシック音楽の楽しみ方を伝える公開講座。平成27年度から月1回開催で、ゲストアーティストとのトークやミニコンサートなど多彩な内容から県民に人気の講座となっている。7月は、4月に続き県出身のフルーティスト布能美樹さんと若手実力派ピアニスト 松本和将さんによる特別コンサートも開催した。									
事業実施状況 2017年4月～ 2018年3月まで 会議室他	(具体的な実施状況)									
	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	総事業費 1,860,000円	
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月		2月	3月	4月	参加者・出演者の 見込み等
入場者・参加者の数	(内訳)							実施後の見込みの 見込み等	毎月週末開催のため、大小ホールのイベントと重複することも多い。物理的な問題だがイベントが重なった時の駐車場が悩みの種。	
目標入場者 90人 (講座1階当たり)	出演者	2人	2人	2人	2人	2人	2人	2人		
	スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人		
	入場者	140人	115人	143人	115人	140人	115人	115人		
	出演者	2人	2人	5人	3人	5人	2人	2人		
	スタッフ	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人		
	入場者	115人	140人	115人	140人	115人	115人	115人		
	4月コンサート 7月コンサート 12月コンサート									
	出演者	2人	2人	5人						
	スタッフ	5人	6人	10人						
	入場者	260人	160人	280人						
後援者名・協賛者 名等								本年度以降の 展開・見込み	レギュラー講座として定着しており、今後も継続して行く。また、本年度から講座だけでなくホールを利用したレクチャーコンサートも実験的にスタートさせたが講座受講者以外の来場者もあり、自然の以降特別コンサートとしてレギュラー化する予定。	

事業名	やまなしジュニアオーケストラ												広報・連絡方法 (具体的な時期 回数・内容等)	定期演奏会はチラシ、ポスタなどでの告知に加え、ホールの情報誌、ホームページに掲載してPRした。また、楽器1日体験教室など団員募集を兼ねたイベントを開催や河口湖音楽祭、甲府大好き祭り、ニューイヤーコンサートへの参加などを通して活動情報を発信した。																																																																																										
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )													総事業費	3,570,000円																																																																																									
事業の概要 (出演者など) 小ホール等	文化ホールのレジデンスとして小学3年生から高校3年生までのメンバーで構成するオーケストラ。毎月2回の練習と、小ホールでの定期演奏会を開催。この他、河口湖音楽祭への出演など地域のイベントにも参加している。												入場料収入	[REDACTED]																																																																																										
事業実施状況 3月25日 小ホール	(具体的な実施状況)												助成金・補助金等	[REDACTED]																																																																																										
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">2017年</td> <td style="width:10%;">1月</td> <td style="width:10%;">2月</td> <td style="width:10%;">3月</td> <td style="width:10%;">4月</td> <td style="width:10%;">5月</td> <td style="width:10%;">6月</td> <td style="width:10%;">7月</td> <td style="width:10%;">8月</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・16,12日練習</td> <td>・7,14日練習</td> <td>・4,11,18日練習</td> <td>・2日練習</td> <td></td> <td>・8,27日練習</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>												2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月								・16,12日練習	・7,14日練習	・4,11,18日練習	・2日練習		・8,27日練習					実施中の実施 上の 問題点	少子化の流れもあってメンバーが減少傾向。楽器演奏という特別な技術が必要とするだけに団員の拡大が大きな課題。イベントなどを通して団員確保にも力を入れている。																																																																
2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																																																																																																
			・16,12日練習	・7,14日練習	・4,11,18日練習	・2日練習		・8,27日練習																																																																																																
入場者・参加者等の数	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">2017年</td> <td style="width:10%;">9月</td> <td style="width:10%;">10月</td> <td style="width:10%;">11月</td> <td style="width:10%;">12月</td> <td style="width:10%;">1月</td> <td style="width:10%;">2月</td> <td style="width:10%;">3月</td> <td style="width:10%;">4月</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・10,18,24,30日練習</td> <td>・9,14,15,21日練習</td> <td>・12,19日練習</td> <td>・3,24日練習</td> <td>・21,28練習</td> <td>・11,18,25日練習</td> <td>・11日 体験会</td> <td>・10,11,17,18,21,22日練習</td> <td>・24日 仕込み</td> <td>・25日 公演</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>												2017年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月						・10,18,24,30日練習	・9,14,15,21日練習	・12,19日練習	・3,24日練習	・21,28練習	・11,18,25日練習	・11日 体験会	・10,11,17,18,21,22日練習	・24日 仕込み	・25日 公演					参加者・出演者の 層等	これまで出演者の家族知人が大多数を占めていた定期演奏会の来場者だったが、年を重ねるごとに一般の音楽愛好家にも来場して頂けるようになった。小学生～高校生が練習の成果を披露する姿がもし出される音楽とあいまって大きな感動を呼び起こしている。																																																														
2017年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																																																																																																
	・10,18,24,30日練習	・9,14,15,21日練習	・12,19日練習	・3,24日練習	・21,28練習	・11,18,25日練習	・11日 体験会	・10,11,17,18,21,22日練習	・24日 仕込み	・25日 公演																																																																																														
後援者名・協賛者名等	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width:10%;">(内訳)</td> <td colspan="4" style="text-align:center;">【練習参加】</td> <td colspan="4" style="text-align:center;">【定期演奏会】</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td style="width:10%;">4月</td> <td style="width:10%;">160人</td> <td style="width:10%;">10月</td> <td style="width:10%;">265人</td> <td style="width:10%;">出演者・関係</td> <td colspan="3" style="width:30%;">100人</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>目標入場者 300人</td> <td>5月</td> <td>115人</td> <td>11月</td> <td>110人</td> <td>入場者</td> <td colspan="3">570人</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>定期演奏会来場者</td> <td>6月</td> <td>208人</td> <td>12月</td> <td>85人</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>7月</td> <td>76人</td> <td>1月</td> <td>104人</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月</td> <td>93人</td> <td>2月</td> <td>222人</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>9月</td> <td>216人</td> <td>3月</td> <td>546人</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>												(内訳)	【練習参加】				【定期演奏会】								4月	160人	10月	265人	出演者・関係	100人							目標入場者 300人	5月	115人	11月	110人	入場者	570人							定期演奏会来場者	6月	208人	12月	85人										7月	76人	1月	104人										8月	93人	2月	222人										9月	216人	3月	546人									実施後の感想及 改善点等	知名度も上がり様々なイベントへの出演依頼も増えている。様々な演奏の機会を体験するのは団員にとっても好ましいものであるが、子どもたちの健全な育成も重要な目的と捉えているため、事務局として責任が持てる場の選択が益々必要と痛感している。
(内訳)	【練習参加】				【定期演奏会】																																																																																																			
	4月	160人	10月	265人	出演者・関係	100人																																																																																																		
目標入場者 300人	5月	115人	11月	110人	入場者	570人																																																																																																		
定期演奏会来場者	6月	208人	12月	85人																																																																																																				
	7月	76人	1月	104人																																																																																																				
	8月	93人	2月	222人																																																																																																				
	9月	216人	3月	546人																																																																																																				
	参加者は延べ人数												今年度以降の 展開・展望	団員の確保に努めつつ、継続を図る。																																																																																										

事業名	高校演劇講座										本事業の目的 (具体的な時期、回数、内容等)	山梨県高等学校文化連盟演劇専門部を通して告知、集客。			
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )											実施中の様子 (写真等)	総事業費	1,295,000円	
事業の概要 (出演者など)	文化ホールの施設やノウハウを活用し、高等学校演劇部の技術向上を図る事業。県高等学校文化連盟演劇専門部の要請を受けて継続している。文学座の演出家、俳優による演出、演技指導を初め、文化ホールスタッフによる音響、照明、舞台技術の指導などを実施。										入場料収入		[REDACTED]		
事業実施状況 7月31日～8月3日 小ホール	(具体的な実施状況)										助成金・補助金等		[REDACTED]		
	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	入場者・参加者等の数 目標入場者 80人	(内訳)	7月31日		8月1日	8月2日	8月3日
			・高文連と開催内容の検討		・参加者確定		・31日講習会・1～3日講習	講師			3人	3人	3人	3人	自己財源
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	参加者	110人	110人	110人	110人	実施後の効果等の 反省点等	複数の高校が一堂に集まり、プロの演出家、役者、技術者の指導を受けることのできる貴重な機会として喜ばれている。
									スタッフ	7人	7人	7人	7人		
後援者名・協賛者名等															

事業名		尚美ウィンドオーケストラコンサート														
主催・共催状況		単独主催 <b>共催あり</b> (共催先: )山梨県吹奏楽連盟														
事業の概要 (出演者など)		音楽の専門教育で伝統を誇る尚美ミュージックカレッジで研鑽を積み現役学生やOBの選抜メンバーで構成する国内有数の吹奏楽団によるコンサート。山梨県吹奏楽連盟が招聘するコンサートをPRやチケットの配券などで協力する共催事業。														
事業実施状況 6月25日 大ホール		(具体的な実施状況)														
		2017年														
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月							
							-25日開催									
		2018年														
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月							
入場者・参加者等の数		(内訳)														
目標入場者 1,500人		出演者		50人		スタッフ		50人		入場者		1,850人				
後援者名・協賛者名等																
		山梨県吹奏楽連盟が招聘した公演の運営などをサポートした公演。集客へ向けた告知などは吹奏楽連盟が担当。ホールの広報誌、ホームページで告知協力を行った。														
		総事業費														
		0円														
		入場料収入														
		0円														
		助成金・補助金等														
		その他収入														
		自己財源														
		参加者・関係者の声														
		吹奏楽に取り組んでいる来場者が多く、国内有数の技術に感銘していた。														
		実施後の感謝状・お礼状等														
		事業開始の展開・展望														
		地域の文化団体による事業をサポートする同様に事業については、積極的に協力して行く。														

事業名	沢田研二 50周年記念特別公演 音楽劇「大悪名」								本事業の目的等 (具体的な実施期 間表、内容)	山日YBSなどと共催で開催した。告知は山日YBSのメディアを主体としてホール内の広報誌、ホームページも活用した。																									
主催・共催状況  事業の概要 (出演者など)	単独主催 <u>共催あり</u> (共催先: )KMミュージック、山梨日・日新聞社、山梨放送  首都圏で評判になった沢田研二が主演する音楽劇「大悪名」を県民に紹介するため、プロモーターを通して誘致した事業。KMミュージックとの共催事業。チケットの県内での販売やPRに協力する形での共催事業。									<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>入場料収入</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>助成金・補助金等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己財源</td> <td></td> </tr> </table>		総事業費	0円	入場料収入	0円	助成金・補助金等		その他収入		自己財源															
総事業費	0円																																		
入場料収入	0円																																		
助成金・補助金等																																			
その他収入																																			
自己財源																																			
事業実施状況 6月3日 小ホール	(具体的な実施状況) <table border="1"> <tr> <th colspan="8">2017年</th> </tr> <tr> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・3日開催</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								2017年								1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月						・3日開催			実施までの経緯 (期間表)		
2017年																																			
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月																												
					・3日開催																														
	<table border="1"> <tr> <th colspan="8">2018年</th> </tr> <tr> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								2018年								9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月									参加者・出演者の 収容率	往年の姪歌手による珍しい舞台公演で来場者は沢田研二の演技と歌唱力に感銘を受けていた。	
2018年																																			
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																												
入場者・参加者等の数	目標入場者 600人	(内訳) <table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>700人</td> </tr> </table>						出演者	40人	スタッフ	50人	入場者	700人	実施後の効果及び 収容率等																					
出演者	40人																																		
スタッフ	50人																																		
入場者	700人																																		
後援者名・協賛者名等									往年の名歌手による公演は、ホールにとって欠くことのできないジャンルと考えており、今後も県民のニーズを探りながら適切な公演を開催する予定。																										

事業名	佐渡裕 指揮 東京シティフィルコンサート								実施方法等 (具体的な時期 回数・内容等)	山日YBSとの共催事業。山日YBSのメディアによる告知に加え、ホールの情報誌、ホームページに掲載し集客を図った。						
主催・共催状況	単独主催 <u>共催あり</u> (共催先: )山梨日日新聞社、山梨放送															
事業の概要 (出演者など)	世界的指揮者、佐渡裕指揮、東京シティフィルのオーケストラコンサート。県内で、開催が難しいコンサートをプロモーターへの招致養成で開催する事業。県内でのチケット販売協力、広報協力で指定管理者の資金負担なしで開催する事業。								総事業費 0円 入場料収入 0円 助成金・補助金等 その他収入 自己財源							
事業実施状況 4月22日 大ホール	(具体的な実施状況) 2017年 1月      2月      3月      4月      5月      6月      7月      8月 ・22日開催															
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月								
入場者・参加者等の数	目標入場者 1,500人	(内訳) <table border="1" data-bbox="470 1021 705 1109"> <tr> <td>出演者</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,890人</td> </tr> </table>								出演者	50人	スタッフ	20人	入場者	1,890人	実施までの発生した 問題点
出演者	50人															
スタッフ	20人															
入場者	1,890人															
後援者名・協賛者名等									参加者・出演者の 感想等	首都圏以外での開催が難しい公演をメディアと協力し招致開催したコンサート。クラシックファンばかりでなく話題の名指揮者、佐渡裕氏の演奏を体験しようと多くの来場者を迎えた。						
									実施後の感想及び 反省点等	ホール独自の招聘ばかりでなく、メディアやプロモーターの意向に沿う形で県民に優れたステージを提供する公演は継続開催する予定。						

事業名	KODA KUMI LIVE TOUR 2017 ~W FACE~								具体的な補助 回数・内容等	山日YBSとの共催事業。山日YBSのメディアによる告知に加え、ホールの情報誌、ホームページに掲載し集客を図った。						
主催・共催状況	単独主催 <u>共催あり</u> (共催先: )山梨日日新聞社、山梨放送										総事業費	0円				
事業の概要 (出演者など)	県内での開催が難しい、若者に人気のアーティストのライブをプロモータに働きかけて招致したコンサート。チケット販売協力の他、開催PRを担当し、資金負担をしない事業。								入場料収入	0円						
事業実施状況 6月24日 大ホール	(具体的な実施状況) 2017年 1月      2月      3月      4月      5月      6月      7月      8月     ・24日開催								助成金・補助金等							
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	その他収入							
入場者・参加者等の数	目標入場者 1,600人	(内訳) <table border="1" data-bbox="483 1023 719 1110"> <tr> <td>出演者</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,950人</td> </tr> </table>							出演者	1人	スタッフ	50人	入場者	1,950人	実施までに発生した 問題点	周辺の商業施設などに来場者が長時間車を止め、ホールに苦情が寄せられた。
出演者	1人															
スタッフ	50人															
入場者	1,950人															
後援者名・協賛者名等									参加者・出演者の 感想等	チケットは即日完売の人気公演で来場者も満足していた。						
									実施後の感想及び 反省点等	特に県外からの来場者(アーティストの追っかけ)のマナーが毎回問題となっているが、回を重ねるごとに改善されつつある。						
									次年度以降の 展開・展望	地方都市への招致が難しい人気公演の開催は、メディアやプロモーターへの働きかけをとおして継続していく。						



事業名	ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会2017								広報・地域交流 (具体的な時期 回数・内容等)	山日YBSとの共催事業。山日YBSのメディアによる告知に加え、ホールの情報誌、ホームページに掲載し集客を図った。					
主催・共催状況	単独主催 <b>共催あり</b> (共催先: )山梨日日新聞社、山梨放送														
事業の概要 (出演者など)	多くの来場者の開催要望を受けてプロモーターをとして招致を図ったコンサート。指定管理者は、チケットの県内での販売やPRを担当するが資金負担を伴わない共催事業								総事業費 0円 入場料収入 0円 助成金・補助金等 0円 その他収入 0円 自己財源 0円						
事業実施状況 11月12日 大ホール	(具体的な実施状況)														
2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		実施まで発生した 問題点					
2018年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月							
			11/12公演							参加者・協賛者の 反応等					
入場者・参加者等の数	目標入場者 1,500人	(内訳) <table border="1" data-bbox="481 1018 712 1102"> <tr> <td>出演者</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,500人</td> </tr> </table>							出演者	45人	スタッフ	45人	入場者	1,500人	実施後の感想及び 反省点等
出演者	45人														
スタッフ	45人														
入場者	1,500人														
後援者名・協賛者名等									次年度以降の 展開・展望	地方都市への招致が難しい人気公演の開催は、メディアやプロモーターへの働きかけをとおして継続していく。					

事業名	宝塚歌劇月組全国ツアー								広報活動の強化 (具体的な時期 回数・内容等)	山日YBSとの共催事業。山日YBSのメディアによる告知に加え、ホールの情報誌、ホームページに掲載し集客を図った。						
主催・共催状況	単独主催 <b>共催あり</b> (共催先: )山梨日日新聞社、山梨放送										総事業費 0円 入場料収入 0円 助成金・補助金等 0円 その他収入 0円 自己財源 0円					
事業の概要 (出演者など)	根強いファンからの開演要望の多い「宝塚歌劇団」の公演を山日YBSと共同で招致し開催する。招致の他チケットの販売、公演のPRなどを行う。資金負担を伴わない事業。								実施後の発生した 問題点							
事業実施状況 11月29日 大ホール	(具体的な実施状況)												参加者・観客者の 反応等	県内の宝塚ファン待望の公演。作品内容も充実した公演となった。		
	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月							実施後の感想及び 反省点等	2回公演のステージで両公演共満席に近くなるものの共通した問題であるが、駐車場入れ替わりで周辺道路に渋滞を起こす。さらに入れ替わりのタイミングを逸し周辺民間駐車場に回った来場者が後続車両がホールに駐車可能となるなどの問題も出ているが、道路上で駐車場の入れ替わりを待たせることができないことから解決方法の無い問題となっている。
	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	3月	4月	公演後の 展開・感想	宝塚ファンが待望するステージで、ツアー情報などを的確に捉え機会があるごとに開催して行く。						
入場者・参加者等の数	目標入場者 3,000人 (2回公演)	(内訳)						<table border="1"> <tr> <td>出演者</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>3,210人 (2回公演)</td> </tr> </table>			出演者	40人	スタッフ	50人	入場者	3,210人 (2回公演)
出演者	40人															
スタッフ	50人															
入場者	3,210人 (2回公演)															
後援者名・協賛者名等																

事業名	THE ELEPHANT KASHIMASHI 30th ANNIVERSARY TOUR 2017								広報・集客方法等 (具体的に、時期、回数、内容等)	山日YBSとの共催事業。山日YBSのメディアによる告知に加え、ホールの情報誌、ホームページに掲載し集客を図った。							
主催・共催状況	単独主催 <b>共催あり</b> (共催先: )山梨日日新聞社、山梨放送																
事業の概要 (出演者など)	県内での開催が難しい、若者に人気のアーティストのライブをプロモータに働きかけて招致したコンサート。チケット販売協力の他、開催PRを担当し、資金負担をしない事業。								総事業費 0円 入場料収入 0円 助成金・補助金等 0円 その他収入 0円 自己財源 0円								
事業実施状況 4月15日 大ホール	(具体的な実施状況)																
	2017年										実施までの発生した 問題点						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月					参加者・参加者の 感想等				
			15日開催					9月			10月	11月			12月	2018年	
				1月	2月	3月	4月										
入場者・参加者等の数	目標入場者 1,500人	(内訳)						<table border="1" data-bbox="483 1018 712 1098"> <tr> <td>出演者</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,900人</td> </tr> </table>		出演者	4人	スタッフ	40人	入場者	1,900人	後援者・協賛者の 県内・県外	地方都市への招致が難しい人気公演の開催は、メディアやプロモーターへの働きかけをとおして継続していく。
出演者	4人																
スタッフ	40人																
入場者	1,900人																
後援者名・協賛者名等																	

事業名	ミルケ県民ステージ								広報・集客方法 (具体的に、時期、回数、内容)	情報発信から集客まで出演者が行う。		
主催・共催状況	単独主催 共催あり (共催先: )										総事業費 0円  入場料収入 0円  助成金・補助金等  その他収入  自己財源	
事業の概要 (出演者など)	ホールの共有エリアとなっている県民ロビーを活用し、ステージアートに取り組む人たちに発表の機会を提供する取り組み。 多くの人が気軽に利用できるよう使用料を徴収せずに開催している。								実施までの発生した 問題点			
事業実施状況	(具体的な実施状況) 2017年 1月      2月      3月      4月      5月      6月      7月      8月  ・22日 ピアノ演奏会											
	2018年 9月      10月      11月      12月      1月      2月      3月      4月  ・12日 ピアノ弾き語り ・8日 山梨フレッシュコンサート ・4日 山梨フレッシュコン								実施後の感想及び 反省点等			
入場者・参加者等の数	目標入場者 (内訳) 来場者 来場者 来場者 来場者	4月 ピアノ 200人	11月 ピアノ 150人	1月 コンサート 320人	3月 コンサート 230人							
後援者名・協賛者名等												

事業名	谷村新司 45th CONCERT TOUR 2017 STANDARD										広報・宣伝活動 (具体的に何期 回数、内容)	山日YBSとプロモーターとの共催開催。山日YBSのメディアによる告知に加え、ホールの情報誌、ホームページに掲載してPR						
主催・共催状況	単独主催 <u>共催あり</u> (共催先: )イーストン、山日YBS											総事業費 9,590,868円  入場料収入 助成金・補助金等 その他収入 自己財源						
事業の概要 (出演者など)	往年の名アーティストを招聘し団塊の世代や熟年音楽ファンに楽しんでもらうため開催したコンサート。人気グループ「アリス」でデビューし45周年を迎える谷村新司さんによるコンサートをプロモーター、地元メディアとの共催で開催した。										実施までの経緯 問題点							
事業実施状況 7月22日 大ホール	(具体的な実施状況) 2017年 1月      2月      3月      4月      5月      6月      7月      8月 ・22日 コンサート開催												参加者・出演者の 感想等					
	9月      10月      11月      12月      2018年 1月      2月      3月      4月														実施後の感想及び 反省点等			
入場者・参加者等の数	目標入場者 1,000人	(内訳)								採算性も見込め、県民にも喜ばれるコンサートを招聘することは、現在のプロダクション事情では極めて稀なこととなっている。プロモーターやプロダクションとの関係を強化しながら主体的に採算ベースとなる公演の開催に努める。								
後援者名・協賛者名等	<table border="1" data-bbox="481 1026 716 1106"> <tr> <td>出演者</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>入場者</td> <td>1,220人</td> </tr> </table>											出演者	1人	スタッフ	35人	入場者	1,220人	
出演者	1人																	
スタッフ	35人																	
入場者	1,220人																	

事業名	柳家小三治、三三親子会								広報・宣伝方法が時期(具体的な時期)に合わせた。	山日YBSとプロモーターとの共催開催。山日YBSのメディアによる告知に加え、ホールの情報誌、ホームページに掲載してPR		
主催・共催状況	単独主催 <b>共催あり</b> (共催先: )山梨日日新聞社、山梨放送									総事業費	133,000円	
事業の概要(出演者など)	人間国宝の噺家、柳家小三治師匠と愛弟子の柳家三三師匠による落語会。2年越しで実現した高座。小三治師匠自身が「山梨で高座に上がった記憶が定かでない」というほど久々の来県となった。小三治師匠の人間国宝の名人芸が満員の客席を沸かせた。								入場料収入	[REDACTED]		
事業実施状況 6月15日 小ホール	(具体的な実施状況)								助成金・補助金等	[REDACTED]		
	2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	その他収入	[REDACTED]	
					15日開催				自己財源	[REDACTED]		
	9月	10月	11月	12月	2018年	1月	2月	3月	4月	実現できなかった問題点	人間国宝の落語家、柳家小三治師匠の名人芸が満席の会場を盛り上げた。長く開催のチャンスを探り要約実現させた高座だが、小三治師匠も来場者の反応などに満足した様子で本人の意向で次年度の高座も実現する見通し。	
入場者・参加者等の数	目標入場者 600人	(内訳)						実施後の改善点の取組等	柳家小三治師匠の意向もあり次年度も開催。			
		出演者	3人		スタッフ	20人						入場者
後援者名・協賛者名等									次年度以降の意向・展望			